

蓮遊水地整備 今後の進め方について

- 蓮遊水地整備後の遊水地内の利活用や維持管理、改変される地域の今後について、意向調査、地元説明会で様々ご意見をいただいております。
- 蓮遊水地整備にご理解をいただき整備を進めていく上では、今後の遊水地内の利活用のみならず、整備完了の期間を含め、水田や用水などの管理に必要な負担の在り方などについても合意形成が必要と認識しております。
- こうした課題に対し、地域の皆様と調整していく上においては、時間をかけて丁寧に対応してまいりたいと考えております。つきましては、**令和6年の肥料注文などの耕作準備は進めていただければと思います。**
- 本来、地元説明会にてご説明すべきところですが、まずは事業用地や今後の進め方に関する個別の相談会を開催させて頂き、お困り事などを把握してまいりたいと考えております。相談会については、別途回覧します『用地取得に係る個別相談会の開催について(ご案内)』をご覧ください。
- 地域の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。

用地幅杭の設置について(報告)

- 事業用地を示す幅杭の設置作業を、6月末~7月初旬にかけて実施いたしました。下図に示す紫のラインに沿い、写真にある木杭及び旗、または鋵を設置いたしました。調整池から南側は稲刈り後の設置を予定しております
 - 7月3日にはドローン(UAV)により、下図に示す緑の範囲で、地形を捉えるための測量を実施しました。
- 以上の測量にあたり、ご協力をいただき、ありがとうございました。

ドローン(UAV)測量の様子



設置した幅杭



用語解説 「バック」堤

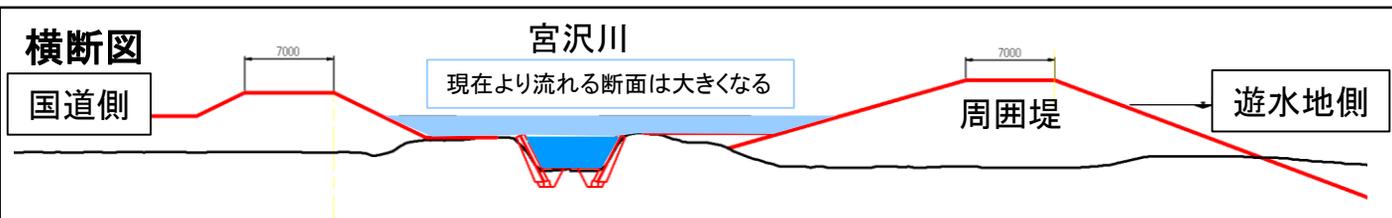
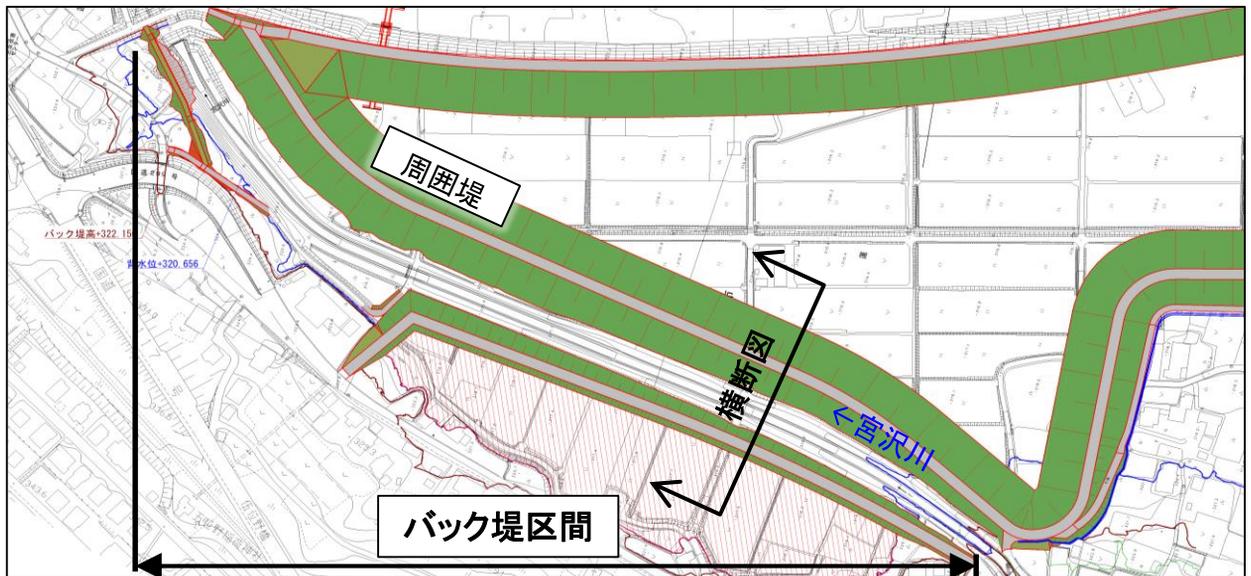
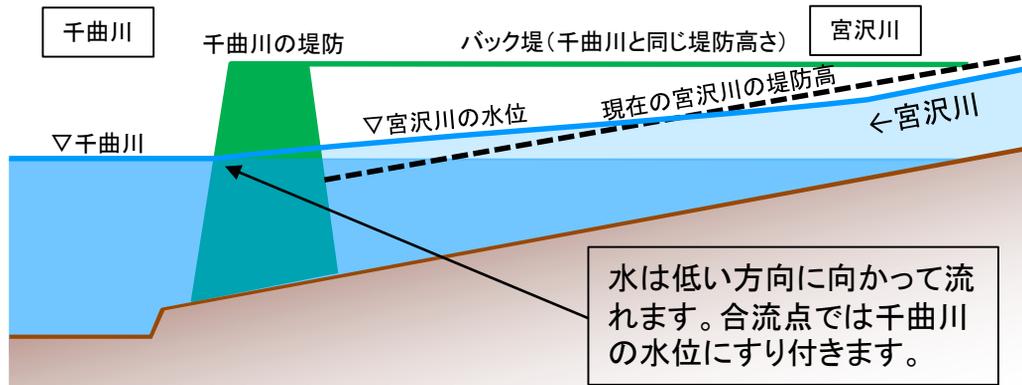
宮沢川の内水対策として計画している「バック堤」について解説いたします。

【現在の宮沢川（バック堤整備前）】

- 平常時では、支川である宮沢川から本川である千曲川に水が流れます。
- 本川増水時には、千曲川の水位が上昇すると宮沢川へ逆流してしまいます。逆流を防ぐため、合流点にゲートを設置し、操作員様が次の操作を行っています。
千曲川の水位が宮沢川の水位より高ければ；ゲートを閉める
千曲川の水位が宮沢川の水位より低ければ；ゲートを開ける

【将来の宮沢川（バック堤整備後）】

- 本川からの逆流による水位は、宮沢川の流れがなければ合流点の水位と水平になります。これに対し、宮沢川からの流れがあると、宮沢川の水位は千曲川の水位にすり付くように合流します。
- 下図では、破線で示した「現在の宮沢川の堤防高」では水位が超過してますが、緑線で示した千曲川と同じ堤防の高さで整備する「バック堤」では、堤防を越えません。
- 逆流を防ぐゲートを設置せず、宮沢川からの水を、現在より安全に流すことができます。



※図面は、測量調査、地元調整などにより、今後変更となる可能性があります。